文系　国語　解答用紙　（第一章）

問一

a	b	c	d
娯楽	嘲笑	錯綜	栄枯盛衰

e	f	g
れいめい	やゆ	混沌

問二　肖像権を持たない架空の人物に関するネットミームであるかどうかを、一人ひとりが冷静に判断すべきだいうこと。

問三　AIによって実在人物に酷似した映像が生成可能になり、顔の同一性を判断することが困難になったため。

問四　②

問五　ネットミームが文化として定着した場合、保護対象となる一方で肖像権との衝突が起こり、どちらを優先すべきかという問題が生じるから。

問六　内輪の文脈で自由に行われていた創作が、大衆化により外部の評価基準にさらされることで、自由な表現が制約されてしまうということ。

問七　(i)限られた参加者同士で価値観や文脈を共有し、外部の評価を前提とせずに活動する閉じた共同体。

(ii)一度広く共有されたミームは忘却されにくく、繰り返し想起されて外部からの評価を受け続けることになるから。

問八　文章Ⅰの著者は楽しさと人権侵害リスクを併せ持つものとして捉えている一方で、文章Ⅱの著者は内輪文化が大衆化して変質したものとして捉えている。

問九　①

文系

国語　解答用紙　（第二章）

問一	①
問二	Tさんは水泳部のエースで実力・存在感ともに際立っており、主人公の憧れの対象であるため、その影さえも大きく頼もしく感じられたから。
問三	東京都世田谷区北沢三丁目二三－一四
問四	④
問五	Tさんの様子にどこか気になる点を感じつつも、憧れの存在と一緒にいる状況を壊したくなくて深く考えないようにしている気持ち。
問六	セミの声は真夏の迫真さや主人公の安心感を表しており、それが弱まり遠のくことで主人公の感じている異常や不穏さを際立たせる役割を果たしている。

文1	文2
60+34	

受験番号					
1	1	4	5	1	4
氏名					
田所浩二					

文系　国語　解答用紙　（第三章）

問一	野獣先輩
問二	上品な様子で、言動も落ち着いていて、実に身分の高い立派な人物であった。
問三	野獣邸
問四	②
問五	とほのは田所に連れられて階段を上り、「入って、どうぞ」と言われて扉から中に入った。
問六	③
問七	今日練習きつかったね。でも大会近いからね、しょうがないね。
問八	日当たりのよい屋上に上がって、日光浴をしないかという誘い。

文系

国語　解答用紙　（第四章）

問一	三浦や鈴木の疲れた様子ややり取りが少しおかしく感じられ、場の雰囲気につれられ思わず笑ってしまったため。
問二	三浦大先輩に頼られて少し喜ばしく思いつつも、要求にできる限り応えようとしている気持ち。
問三	熱気のこもった風呂場から早く出てビールを飲みたいという気持ちに駆られ、リスポーン地点のドアを強く引いたため。
問四	①
問五	便乗

文3	文4
40+26	

受験番号					
1	1	4	5	1	4
氏名					
田所浩二					

文系　　国語　　解答用紙　　（第五章）

問六　<解答例>

選んだ選択肢　①

この物語の冒頭では、鈴木が空手部をやめたくなるほど練習で疲れている様子が読み取れる。そして、そのような状態にある鈴木の体はタンパク質を欲しており、無意識のうちに肉などの食べ物について考えている可能性があるといえる。ここで、「豚肉」の別の読み方として「とんにく」が挙げられる。この点を踏まえると、鈴木は豚肉のことを思い浮かべ、「とんにく」と発言したと解釈できる。さらに、風呂を出た直後に鈴木がラーメン屋の屋台に行こうと提案したのも、豚骨スープや豚肉を使ったラーメンを食べたかったためだと考えれば、物語全体のつじつまが合う。加えて、「とんにく」をアルファベットにして並び替えると「ＴＮＯＫＵＮＩ」、すなわち「Ｔの国」となり、田所の国を示す言葉になる。この作品では鈴木という名前で登場しているが、実際には本名である田所を暗示しつつ、自らの帝国を築こうとする野望を表しているとも読み取れる。その大胆さもまた、作者の意図としてうかがえるだろう。このようにアナグラムを仕込む手法は、文学ゲイ術作品に特有の表現といえる。以上のことから、ここで鈴木が発した言葉は「とんにく」であることが証明された。（４９１字）

文5
40

受験番号					
1	1	4	5	1	4
氏名					
田所浩二					